

府立高拠点活動広がる

府立高を拠点に、地域の子どもたちが継続してスポーツ活動を楽しめる場をつくらうと、久御山

小中生ら楽しむ

質の高い指導者を生かす

綾部、加悦谷の3高校で昨年度から「総合型地域スポーツクラブ」づくりの取り組みが進んでいる。京都府教委の独自事業で、今年4月から久御山高で剣道とバスケットボール、綾部高で陸上とソフトボールなどの教室がスタート。高校と地域の指導者が連携して指導しており、来春には独立したクラブ組織としての正式発足を目指す。

と楽しみを語る。

経験者がほとんどだが、中には初めて竹刀を握る初心者も参加している。阪口教諭は「初心者の子どもの参加を増やし、剣道人口を広げたい」と話す。

動したい」と事務局の岩内和也教諭は意欲的。夏にはカヌー教室も予定している。加悦谷高は、陸上に加え、全国でも強豪として知られる重量挙げの教室も開催。クラブに登録する小中学生約30人のうち、3人が参加し、ウェイトリフティング部の川畑勉顧問は「地元の小中学生に門戸が広がった」と喜ぶ。

府北部でも2校で同様の活動が始まった。

陸上とソフトボールのクラブを毎週土曜に始めた綾部高では、毎回約70人が来る。「多くの小中学生にいろんなスポーツを楽しんでもらいたい。2競技だけでなく、柔軟に活動したい。」と話す。

(宮脇ゆづり)

総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブは、幅広い年代の人たちが地域で好きなスポーツを楽しめるよう、地域住民や企業、団体同じ地域でスポーツができる場をつくりたい。それには年策定の国の「スポーツ振興基本計画」で重点施策として取り上げられ、京都府内でも現在25のクラブが誕生している。

哲夫さん、久御山高の阪口和敬顧問や、近くの中学剣道部や道場の指導者ら10人以上。久御山高の部員も指導を手伝う。参加費は年間三千元。毎回道場で習う小学生や中学校の剣道部員など50人以上が集まり、城陽市や宇治市などから参加者もいる。久御山中剣道部の安藤昂貴主将は「細かく教えてもらって、先生方もたくさん来てくれる」、久御山町東角小6年の井上菜摘さんも「友達がいっぱいできる」

これに対し、府教委の進め同クラブは、普通科Ⅲ類体育系のある府立高を拠点に、運動部顧問ら専門性の高い指導者と学校施設を生かして、

久御山高は本年度から隔週の金曜夜、学校近くの久御山町体育館で剣道教室を始め、指導するのは全日本選手権優勝経験者の西京警員原田

久御山高を中心は今春始まった剣道教室。経験者の小中学生が多いが、中には初心者も(久御山町体育館)